

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策として、夜間想定の実施ができていない。また、災害避難時の備蓄や必要な備品整備ができていない。	災害対策における具体的な行動をとる。	防災計画の作成をする。 夜間想定の実施。また、防災訓練のうち、一度は推進会議にて実施する。 必要な備品や備蓄の整備をする。	12ヶ月
2	49	外出の機会は設けているが、職員の動きによっては対応できないこともある。また、年間の外出レクリエーション実施についても、十分なゆとりある状態での実施や頻度についての要望が高いため、対応できる方法検討が必要である。	年間の外出レクリエーション機会を増す。 ニーズに応じて戸外に出られる体制・一日の流れの見直しを行う。	・業務の内容や流れを見直し、グループホームにおける関わりを優先度を考え直す。 ・活動範囲を室内に限定しないレクリエーションの効果を考え、習慣化したプログラムにする。	12ヶ月
3	26	ケアプラン立案や関連したアセスメント等、昨年よりは充実してきた。日常的な業務上の申し送りもなされているが、個人介入の方法の掘り下げや、介護本質についての意見交換が不足している。	職員が利用者とその家族について・グループホーム特性を踏まえた支援のあり方を網羅した意見交換をし、その時に必要な支援や関わり方について話し合いを自主的にもてるようになる。	・職員会議で、課題の大きいケースについてCf ・日常の介入方法の検討や気づきについて、両フロア職員が一日一回は相談し合う習慣をつける。 ・グループホーム介護について職場会議で年2回意見交換を行なう。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月